

# 令和4年度まちづくり懇談会開催結果報告書

## (1) 開会挨拶（市長）

- ▼昼間から雪が舞ってくるという状況の中、本当に多くの皆さんに参加をいただいた。
- ▼除雪だけではなく、これからの留萌の未来を考えながら、皆さんが暮らしやすいまちづくりとはどんな形がいいのかを意見を参考に聞きながら、政策を作っていくのが行政。
- ▼いろんな形で試行しながら、市民にわかるような市政運営を示していきたい。

## (2) 情報提供

- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業の状況  
市民健康部長 向井智仁
- ・令和4年度の除排雪体制  
都市環境部長 大和俊賢
- ・学校給食におけるスクールランチの導入  
教育部長 柴谷理意
- ・中学校部活動の地域移行  
教育部長 柴谷理意
- ・モンベルアウトドアヴィレッジるもい構想  
地域振興部長 海野 聡
- ・JR留萌本線廃線に伴う代替交通  
地域振興部長 海野 聡

## (3) フリーディスカッション

座長の伊端氏から市政に関する質問を行い、市長が回答するトーク形式

（質問1）新型コロナウイルスワクチン接種事業について先ほどの説明に追加があればご説明をお願いしたい。

（回答1）今まで通りワクチン積極的に受けていただきたい。また、手洗いや消毒、大声を出さないなど気をつけていただきたい。今年はインフルエンザが流行りそうなのでインフルエンザのワクチンも積極的に打った方が感染した後は楽になるのかなと思う。

(質問2) 万全の態勢で除排雪を行う決意を市長から伝えていただければ。

(回答2) 去年は皆さんに本当にご迷惑をおかけした。やはり、バス路線を確保できなかったということが一番の原因なのかなと思う。今年も大雪になるのではないかとということが言われている状況なので、なんとか業者とみんなで協力し合って人手不足や重機の不足を解消していきたい。国道と道道と市道と被っている業者がいたりなど様々な問題が発生していたため、企業体を組んで解消していく。今後は雪の堆積場を設けてなるべく道路に出さず、溜まったら市に相談をしていただきその排雪をどうするか検討することが一番理想的になってくると思うので、今年はいろいろチャレンジしてみたい。

(質問3) 給食センター売却について現状を説明していただきたい。

(回答3) これは現実的な話だと思っていただいて構わない。市としては、企業から提案をいただいて、そこで給食を配送していくのが理想的な方法だと思っている。ただ学校給食法や学校との関係があるのでそこを整理すること、地元事業者が今までと同じように納入できるようにしていけるか確認することが必要。事業者にとってもメリットが出てくるようにしたい。事業者の頑張り次第になるが、マッチすれば理想的なものになると思う。

(質問4) 学校の部活動の地域移行について市長の考えをお聞きしたい。

(回答4) 各中学校が単独で出られない状況が非常に残念であり、中体連に参加することを考えると、この地域移行は必要だと思っている。一つの例として卓球があるが、指導する人が見つかって国の事業とのタイミングも合致したため実現できたので、無償ボランティアではなく有償ボランティアとしてということと、企業の協力ができない。市の職員を指導者とするならば、国や道から費用面を負担してもらわないといけない。現在、この問題については全国でもあまり出てきていない。積極的に留萌市で取り組んでいくなれば、直接文科省に話をしながら地域の課題解決のために国の費用を含めて要望をすることが必要である。

(質問5) モンベルの誘致について改めてわかりやすく説明していただきたい。

(回答5) 現在の船場公園の活用として、1周500mの園路を歩いたり、子どもたちがボールを蹴ったりしている状況であり、当初は公園を作った際に、保育園や幼稚園の運動会を考えていたがそのような状況にはならないことも考えていくと、モンベルとマッチングした形のものを、キャンプ場を含めて作っていきたい。また、来年の3月31日にJRが廃線することによる駅周辺の活用方法についても、モンベルが活かされていくと思っている。新たな形のものを作っていききたいという固い決意で頑張っていきたい。モンベルの進出は決定しているが、ゾーニングについてはまだ決まっていない。

(質問6) JR跡地の周辺整備について市長の考えをお聞きしたい。

(回答6) こちらの事業については「まちづくり構想」と言われている。この話が出てきた理由の一つに、市役所庁舎を含む公共施設の耐震化に関する早急な検討があり、現段階では市役所の移設・分散化、社会教育施設、その他の複合施設を検討している。必要なものを選択したいと考えているが、庁舎については市民にとってどこが一番いいのかを確認してからやる作業であり、他にも市の財政問題などがあってなかなか進んでいない状況。今後は国や道の補助金の詳細を確認しながら、収支を見て皆さんに示していきたい。

(質問7) 代替交通の今後について、市民への公表の時期も含めて説明していただきたい。

(回答7) 3月の市議会第1回定例会までには方向性の決定について公表するべきだと思っている。その前に人員不足やバスの運行に対する国の補助金について国に強く話をしていかなければならない。特に本市のような一つの選択肢を削ることを決断した地域については、より一層的確な措置をしていただきたいと思っており、これについては国会議員にも話をしている状況。具体的には大型免許が取得しやすい環境づくりと、給与面の検討が人員確保に向けて必要だと思っている。

——意見交換——

(4) 閉会挨拶(市長)

▼長時間になってしまったが、非常に有意義な懇談会であった。皆様のご意見を真摯に受け止め、政策に反映していきたい。

▼もっと多くの方の意見を聞くことが大切だと思っており、今後も広報広聴の場を設けていくので、団体や町内会の中で共有していただきたい。

▼本日はありがとうございました。